

淡路地区 海岸ゾーン Park-PFI 事業 事業概要

1. 事業の背景と目的

- ・ 国営明石海峡公園事務所では、平成 29 年度に改定した「国営明石海峡公園基本計画」に基づき、未開園区域を含む淡路地区海岸ゾーンの整備を行います。
- ・ 海辺の散歩とショッピングを楽しめるエリアとする「シースケープ・ラウンジ」は、民間活力の導入によりカフェ等の整備を行い、都市公園の質の向上、公園利用者の利便の向上を図る、公募設置管理制度 (Park-PFI) の活用を行います。

2. 対象地について

■明石海峡公園 淡路地区 海岸ゾーンについて

- ・ 国営明石海峡公園は、兵庫県淡路市の『淡路地区』と神戸市北区、西区の『神戸地区』の2地区で整備を行っている全体計画面積 330ha の国営公園です。
- ・ 『淡路地区』の海岸ゾーンでは、淡路夢舞台などの隣接地区と一体的にエリアを形成し、海辺の開放的な空間を活かしたレクリエーション利用の場とします。
- ・ 海岸ゾーンは「アウトドア・ベース」「シースケープ・フィールド」「シースケープ・ラウンジ」の3つのエリアごとにコンセプトを定め、うち「シースケープ・ラウンジ」に「民活エリア」を設定します。



図1 淡路地区の土地利用ゾーニング

■民活エリアについて

- ・ 国が整備予定の駐車場や主要園路等を除いた、約 8,900 m²を民活エリアとして設定し、民間事業者による公募対象公園施設と特定公園施設等の整備及び維持管理・運営を行います。
- ・ 民活エリアの一部のみの整備をする公募設置等計画も受け付けます。

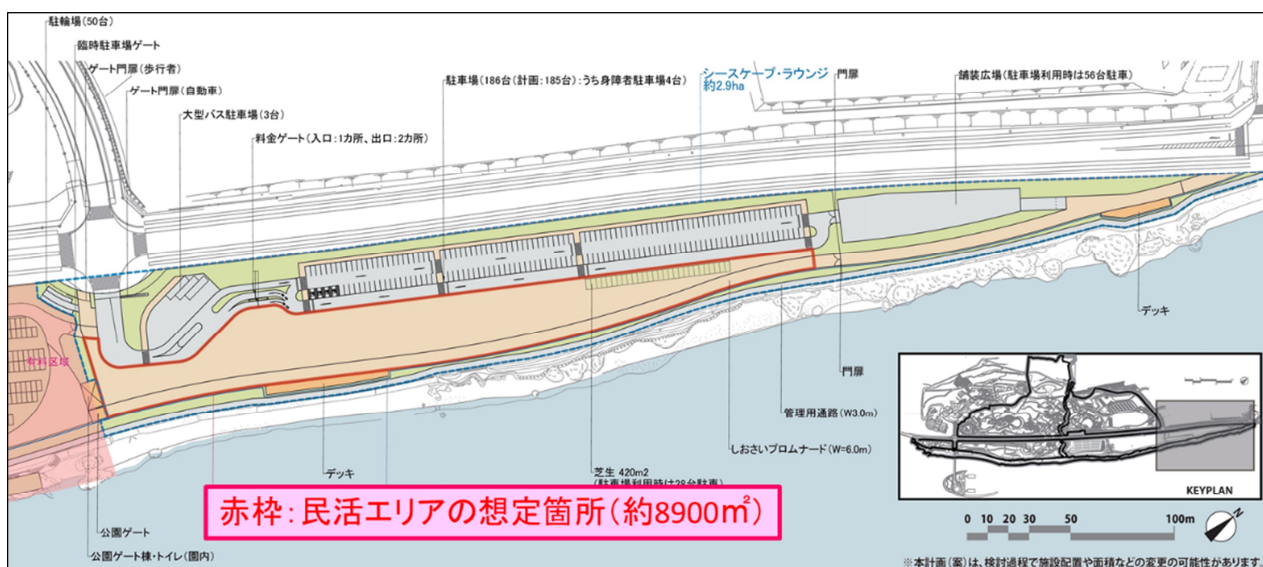


図2 民活エリアの想定箇所 (約 8,900 m²)

3. 整備を求める施設の条件について

- ・現在、国営公園の運営維持管理は、「H28-31 国営明石海峡公園運営時管理業務」として、民間に委託しています。
- ・Park-PFIの対象範囲は、民活エリアの全部または一部とし、その他は、現行と同様に運営維持管理業務として民間委託を行う予定です。

4. 公募手続き（予定）

- ・サウンディング調査の結果を踏まえて、事業内容及び公募条件等を検討し、公募設置管理の事業者募集に向けた手続きを進めていきます。

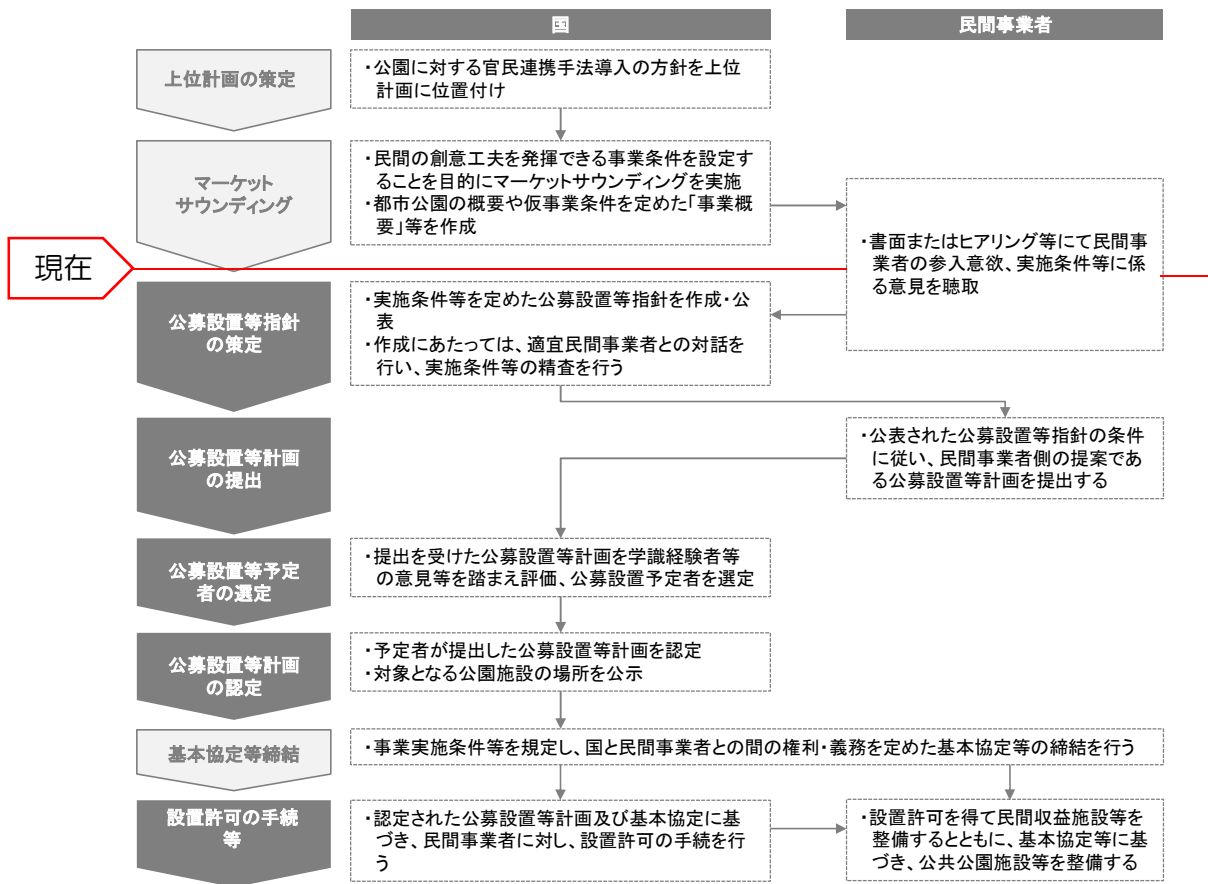
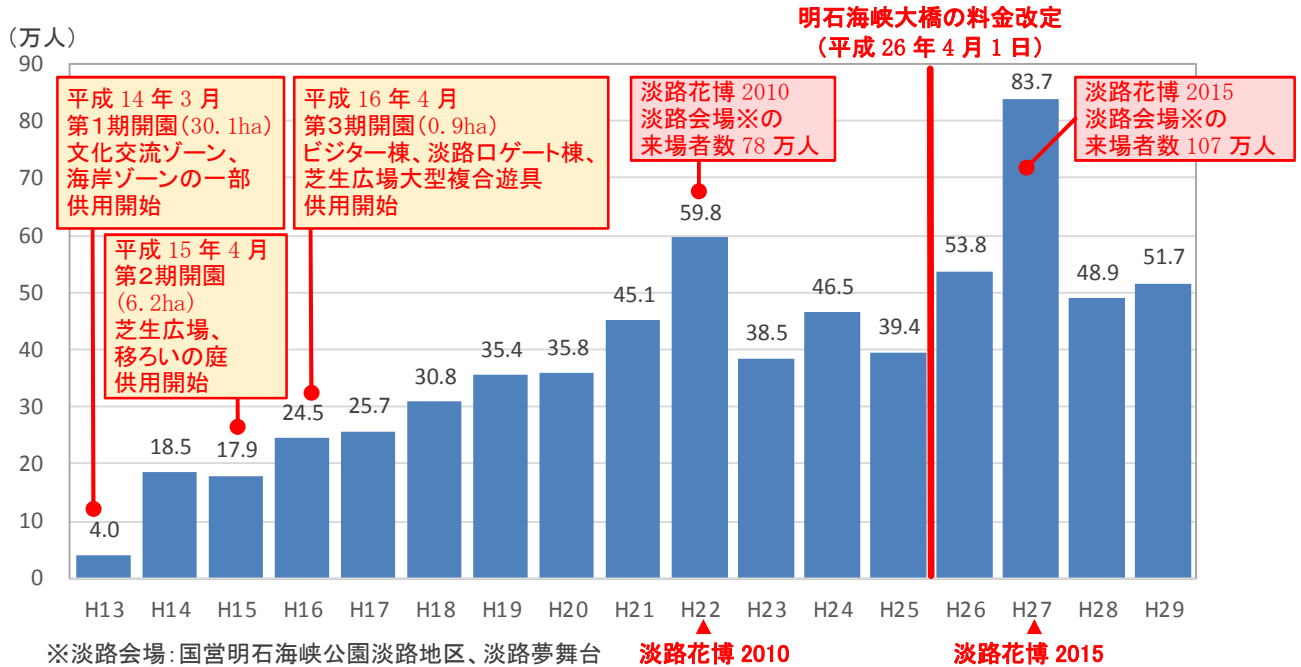


図3 公募手続きの流れ（予定）

(参考) 明石海峡公園 淡路地区の状況

■公園利用者数の推移

- ・淡路地区の公園利用者数は、近年、約 40～50 万人前後で推移しています。2015 年は、淡路花博 2015 の相乗効果により約 84 万人の公園利用者数となりました。



■イベントの実施状況

- ・淡路島における大規模イベントの会場として定着しつつあり、既存イベントの継続・発展と新規イベントの受入れを積極的に進めています。



淡路市夏まつり
平成 19 年以降、当公園淡路地区にて開催。夜には約 5,000 発の花火を打ち上げ。



ロハスフェスタ
オシャレにかわいくエコを实践しようと思ったイベント。平成 27 年に第 1 回が開催され、平成 29 年 10 月に第 2 回を開催。



野外音楽フェス
平成 21 年から開催。レゲエ、ロックをはじめ多彩なジャンルのアーティストが出演。



UNDOKAI
世界に運動会競技の魅力を発信することを目的に、平成 28 年に第 1 回が開催され、平成 29 年も秋に第 2 回を開催。



淡路ロングライド 150
平成 22 年から開催。ロードバイクで淡路島を一周する「アワイチ」のスタート・ゴール地点となる。



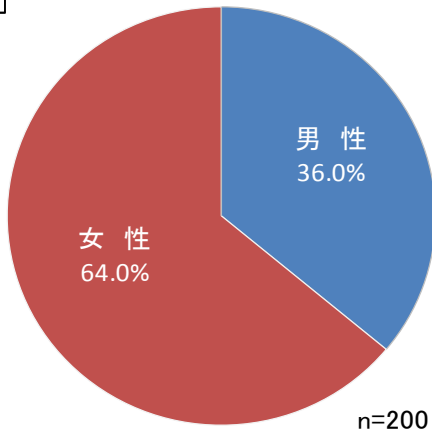
キャラパーク
「ご当地キャラ」たちによる防災と復興応援のイベント。平成 28 年に第 1 回が開催され、平成 29 年 5 月にも開催。

■公園利用者の特性等

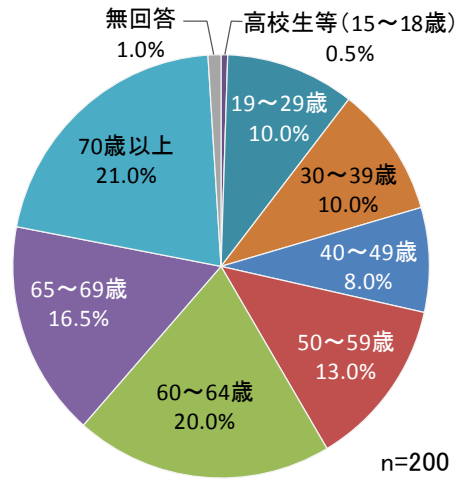
※平成29年度利用実態調査 春季調査・淡路地区 回答者数200人

- ・利用者の住所は、兵庫県（淡路島外）、大阪府の順が多い。
- ・利用形態は、夫婦が最も多く、次いで家族が多い。
- ・利用交通は、自家用車が最も多い。

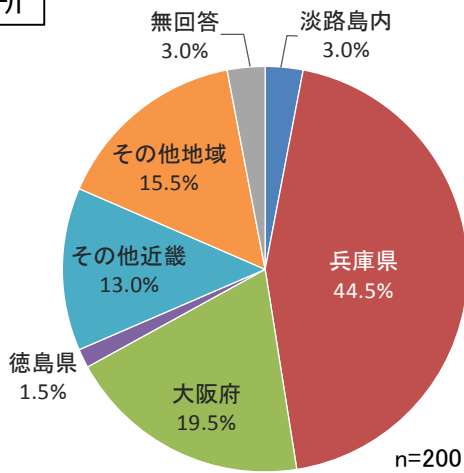
性別



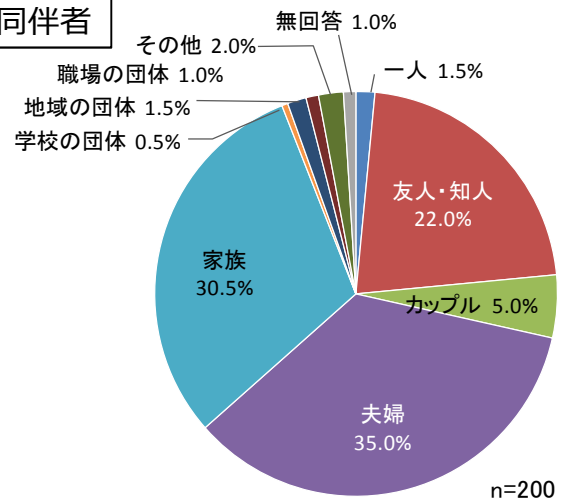
年齢



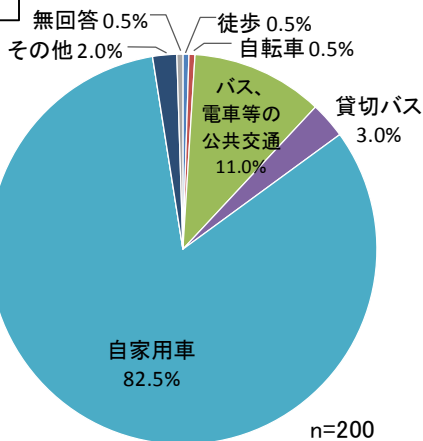
住所



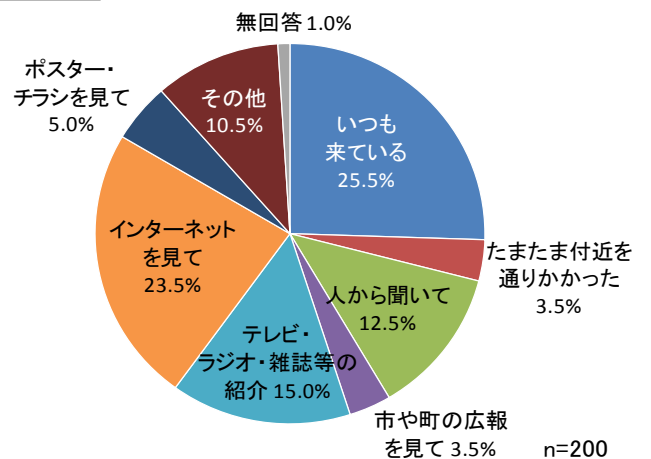
同伴者



利用交通



きっかけ



・来園目的は、「きれい」(126人)、「緑が多い」(97人)、「広い」(70人)の順となっている。

来園の理由

